

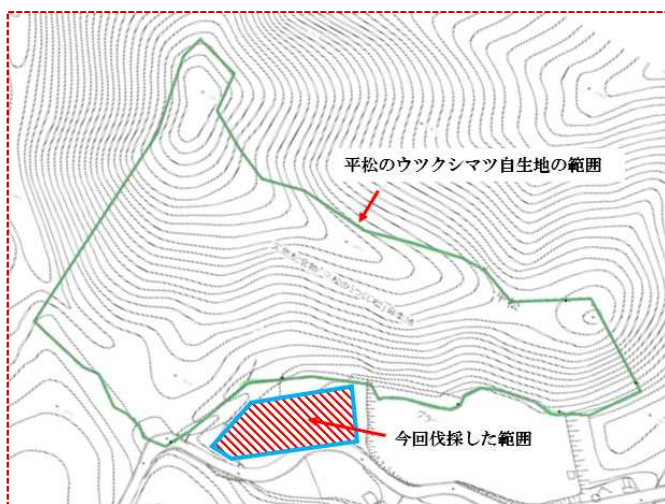


令和4年 第4号

自生地前のヒノキ林を伐採しました

平松のウツクシマツ自生地の前にはヒノキ林があり、ヒノキの樹高が高く平松のウツクシマツ自生地がヒノキ林の陰になっている部分がありました。

マツが生長するためには、日光が大切な要素なので、7月にその土地を所有している方々の承諾を得てヒノキ林を伐採しました。

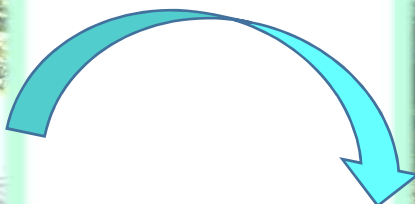


ヒノキ林を伐採したことで、ウツクシマツ自生地内に日光が当たりやすくなったことに加え、今まではグラウンドからしか自生地内全体を見渡すことができませんでしたが、ウツクシマツ自生地前の駐車場からウツクシマツ自生地全体を見渡すことができるようになりました。

なお、ヒノキ林を伐採した跡地については、今後どのような活用ができるか検討する予定です。



BEFORE

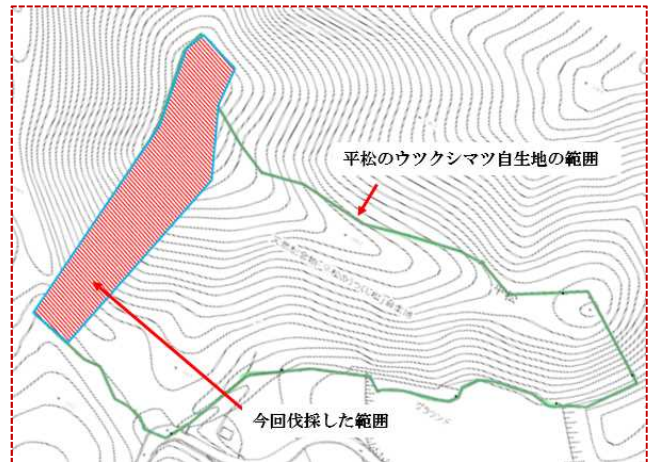




自生地内で雑木が生えていた場所を伐採しました。

平松のウツクシマツ自生地のうち、西側斜面については雑木やササに覆われており、ウツクシマツが生えていないエリアとなっていました。

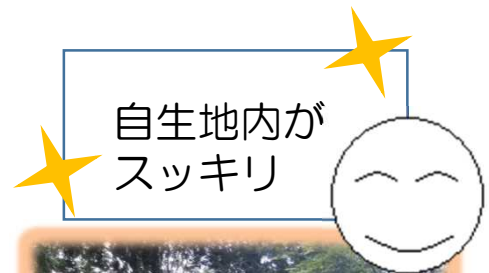
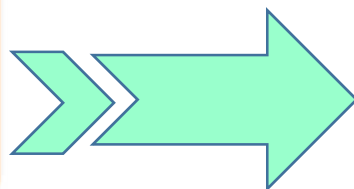
ですが、このエリアも天然記念物のエリアに指定されていることから、ウツクシマツが生えるように環境整備をする必要があるため、雑木やササを伐採しました。



伐採したことにより、ウツクシマツ自生地の西側はかなりきれいになりましたので、さらに環境整備を進めて、今後このエリアにもウツクシマツが生え、生長できるようにするために取り組みを進めます。



雑木で周囲が見えない・・・



自生地内が
スッキリ

